

社協だより

社会福祉法人
対馬市社会福祉協議会

〒817 1201 長崎県対馬市豊玉町仁位94 5
TEL 0920 58 1432 FAX 0920 58 1183
E-mail tsushima-syakyo@oregano.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.tsushima-shakyo.jp/>
(対馬市社会福祉協議会で検索してください。)

福祉作品展開催

ポスターの部 最優秀賞
豊玉中学校3年 村瀬 舞さんの作品

(関連記事は2、3ページをご覧ください。)



今回の主な内容

- 福祉作品展……………2・3
- 各種募金実績報告……………4
- トピックス……………5
- ボランティアコーナー……………6
- 御寄付御礼……………7



福祉作品展 を開催



対馬市社会福祉協議会では福祉に対する理解を深め、また福祉について考えるきっかけづくりを目的として、福祉作品展を開催いたしました。作品展には市内の小・中・高校生より福祉をテーマに約260点もの絵画・ポスター・作文・標語をご応募いただきました。また市内の福祉施設からも、利用者が作成した作品をご提供いただき、1月24日～3月17日までの期間中、各町にて展示を行いました。尚、小・中・高校生より応募のあった作品は、厳正な審査の結果、次のとおり入選作品が決定いたしました。

入選作品介绍

ポスターの部



最優秀賞

豊玉中学校 3年 村瀬 舞さん



優秀賞



敵原小学校 2年 原田 玲南さん

佳作

雞知中学校 1年 井野 夏樹くん



絵画の部



最優秀賞



塩浦小学校 1年 沖中 千恵実さん

優秀賞

敵原小学校 3年 上野 すだちさん



佳作



敵原小学校 5年 波寄 多美子さん

標語の部



小学校低学年の部

最優秀賞

みんながしあわせ わたしもしあわせ
塩浦小学校 2年 斉藤 汐音さん

優秀賞

ありがとうおじちゃんおばあちゃんがいるからほぐがいる
南小学校 2年 赤木 亨輔くん

佳作

ともだちに やさしくされて うれしいな
美津島北部小学校 1年 印束 ひなたさん

たすけあう

みんなのこころ たいせつに
敵原小学校 2年 原田 玲南さん

小学校高学年の部

最優秀賞

大丈夫？ 笑顔と一緒に 届けよう
金田小学校 6年 木村 愛里さん

優秀賞

差しのべよう 小さな心 小さな手
敵原小学校 6年 内山 洋介くん

佳作

心から 思いやりを 忘れずに
鶏鳴小学校 5年 中野 祐里さん

私たち

できることから 始めよう
佐護小学校 5年 豊田 奈央さん

中学校の部

最優秀賞

福祉の芽 みんなで育て 咲かせよう
今里中学校 3年 西山 涼介くん

優秀賞

君の手を 必要とする 人がいる
豊玉中学校 3年 石川 梨帆さん

見つけよう

自分たちにも できること
豊玉中学校 3年 小田 美由葵さん

佳作

普段のね 暮らしの中で 親切に
今里中学校 3年 森山 翼くん

助けあい

笑顔あふれる 町づくり
豊玉中学校 1年 國分 ひかりさん



平成19年度 各種募金運動に ご協力ありがとうございました!!



毎年市民の皆様には、日本赤十字社社資募集・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金につきましては、多大なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

平成19年度の実績は下記のとおりです。皆様のご協力に、心より御礼申し上げます。

今後とも、各種募金活動に対するご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。



日本赤十字社社資募集(5月1日～5月31日)

分会名	目標額	実績額	達成率
厳原	1,743,000	1,747,327	100.2%
美津島	1,039,000	1,127,500	108.5%
豊玉	514,000	528,525	102.8%
峰	343,000	332,700	97.0%
上県	474,000	574,995	121.3%
上対馬	607,000	540,450	89.0%
合計	4,720,000	4,851,497	102.8%

日本赤十字社長崎県支部対馬市地区長
長崎県共同募金会对馬市支会長



🐾平成20年度もご協力お願いします!!🐾

赤い羽根共同募金(10月1日～12月31日)

分会名	目標額	実績							合計	達成率
		戸別募金	街頭募金	法人募金	学校募金	職域募金	イベント募金	その他募金		
厳原	2,386,000	2,088,660	53,976	0	0	9,797	0	248,956	2,401,389	100.6%
美津島	1,341,000	1,402,241	0	0	0	27,315	0	0	1,429,556	106.6%
豊玉	671,000	458,624	0	76,000	8,160	58,200	5,139	87,932	694,055	103.4%
峰	444,000	354,400	0	0	32,018	14,000	19,000	0	419,418	94.5%
上県	637,000	592,658	0	88,500	0	0	0	13,281	694,439	109.0%
上対馬	803,000	597,447	0	215,272	0	0	0	0	812,719	101.2%
合計	6,282,000	5,494,030	53,976	379,772	40,178	109,312	24,139	350,169	6,451,576	102.7%

歳末たすけあい募金(12月1日～12月25日)

分会名	目標額	実績							合計	達成率
		戸別募金	街頭募金	法人募金	学校募金	職域募金	イベント募金	その他募金		
厳原	200,000	0	0	0	133,391	0	0	18,113	151,504	75.8%
美津島	343,000	343,720	0	0	0	0	0	0	343,720	100.2%
豊玉	260,000	260,030	0	0	0	0	0	0	260,030	100.0%
峰	250,000	227,000	0	0	0	0	0	0	227,000	90.8%
上県	350,000	302,000	0	0	0	0	0	0	302,000	86.3%
上対馬	490,000	449,218	0	0	0	0	0	0	449,218	91.7%
合計	1,893,000	1,581,968	0	0	133,391	0	0	18,113	1,733,472	91.6%



平成19年度

対馬市民生委員

児童委員研修会

～研修会～

1月25日(金)、対馬市交流センターにおいて、対馬市民生委員児童委員協議会連合会主催による、平成19年度対馬市民生委員児童委員研修会が開催されました。

この研修会は、少子・高齢化やいじめ・自殺問題の増加など多様な社会問題が取りざたされる中、支援を必要とする方々が安心して暮らすため、地域に密



参加された委員の皆さん

着した活動を行っている民生委員・児童委員の更なる資質向上を目指して開催され、当日は、市内より約130名の関係者が参加されました。

研修会では、厳原地区民児協会長の小山 博氏が「善く生きる」支援活動を求めて」及び上対馬地区民児協の米田貞子氏が「9年間を振り返って」と題して、子育ての問題や学校の不登校問題、また独居高齢者の孤独死の問題など、実際に直面した事例をもとに報告が行われました。



上対馬地区民児協
米田氏による事例発表



厳原地区民児協会長
小山氏による事例発表

民生委員制度

創設90周年記念事業講演

午後からは、民生委員制度創設90周年記念事業として、女優の石井めぐみさんより『やさし

い街 やさしい人』もっと多くの人に知って欲しい!』というテーマで講演が行われました。石井さんは、重度の障がいを抱えて生まれた長男の優斗くんと7年間の生活を振り返りながら、「障がいを持った子どもも、親にいろんなプレゼントを与えてくれます。障がい児がいるから辛いとか大変ということもありません。私たち一人一人がどうやって生きていくかで、幸せにも不幸にもなれます。ですが、それは自分自身が決めることです。」など障がい者と健全者がともに手を取り合って生きる街づくりについて講演が行われました。



女優 石井めぐみさんによる講演

対馬市社会福祉協議会 地域福祉活動計画策定に かかる上対馬町区長説明会

対馬市社会福祉協議会では、平成19年度、20年度の2カ年で、地域福祉活動計画を策定している所です。計画を策定するにあ

たり地域の実情や福祉課題を把握するために、各町単位で個別の福祉活動基礎調査や地域での座談会を行っております。

対馬市社協上対馬支所では、2月20日に上対馬町地域福祉センターにおいて、上対馬町の各町区長にご参加を頂き、地域福祉活動計画の目的や策定の方法などを知っていただく為に開催致しました。

地域福祉活動計画策定の目的、策定までのスケジュールや策定の為に取り組んでいる事、また取り組もうとしている事などを説明致しました。

内容の分かりづらい面も多かったですと思いますが、熱心に耳を傾けられていらつしやいました。

意見交換会テーマ「住民相互で地域を支えるために」では、活発な意見交換がなされ有意義で充実した説明会であったと感じています。

上対馬町の住民座談会の地区選定では、全地区での実施を望む意見や年度末で区長交代なので来年度もこのような説明会を実施して欲しいと言う有りがたい意見も頂きました。

住民座談会については、河内・大浦区、比田勝区、芦見区の3地区を選定し2月下旬から3月下旬にかけて実施していく予定です。

市民の皆様、対馬市社会福祉協議会は市民の福祉向上に向け全力で頑張っておりますので今後とも宜しくお願い致します。



説明会の模様

ありがとう

九州電力(株)様より

スズラン寄贈

2月18日、九州電力(株)対馬営業所様より、昨年に引き続きスズランを寄贈いただきました。

ありがとうございました。



ボランティア紹介

今回より、市内で活動されているボランティアを
毎回紹介していきます。

『ボランティアグループ ひまわり』

ホームヘルパー2級の資格を取得された15名の会員で構成されており、峰町において、障害を持っておられる方や、高齢者の方で介護保険では支援できない軽度の生活支援として、身の回りのお世話（草取り、障子張り、掃除、見守り、話し相手など）を中心に活動を行っています。

また年に数回、主要道路沿いの空きカン・空きビン回収や、ゴミ集めも会員で実施しており、管内の環境美化活動にも貢献されています。

『ボランティアグループ ひまわり』よりお知らせ

峰町のみなさん。お困りでは
ありませんか？

何か家事など手伝って欲しい
ことがありましたら、まずはご
連絡下さい。

また、「ボランティアグループ
ひまわり」では一緒に活動をし
ていただけるメンバーを
募集中です。

お問い合わせ先

峰町ボランティアセンター

(対馬市社協 峰支所内)

TEL 0920(83)0294



地域の環境美化にも積極的に取り組んでいます



高齢者宅の除草作業も行います



平成20年度

ボランティア活動保険



各プランの保険料(掛金)が
さらにお安くなります

ボランティア活動を
支えます!

保険金の種類	補償内容	加入プラン・補償金額		
		Aプラン	Bプラン	Cプラン
死亡保険金	偶然な事故によってケガをされ、そのケガのため事故の日からその日を含めて180日以内に亡くなられた場合、死亡保険金額の全額をお支払いします。	1,418万円	2,553万円	4,098万円
後遺障害保険金	偶然な事故によってケガをされ、そのケガのため事故の日からその日を含めて180日以内に身体の一部を失ったり、その機能に重大な障害を永久に残された場合、その程度に応じて後遺障害保険金額の3~100%をお支払いします。	1,418万円 (限度額)	2,553万円 (限度額)	4,098万円 (限度額)
入院保険金日額	偶然な事故によってケガをされ、そのケガのため入院した場合、事故の日からその日を含めて1,000日以内の入院日数に対し、1日につき入院保険金日額をお支払いします。	7,000円	11,000円	14,000円
手術保険金	偶然な事故によってケガをされ、その入院保険金をお支払いする場合で、事故の日からその日を含めて1,000日以内にそのケガの治療のために所定の手術を受けられたとき、入院保険金日額に手術の種類に応じて定めた倍率(10倍・20倍または40倍)を乗じた額をお支払いします。ただし、1事故につき1回の手術に限りです。			
通院保険金日額	偶然な事故によってケガをされ、そのケガのため医師の治療を受けた場合、平常の生活または業務ができる程度に治った日までの通院日数(往診日数を含みます。)に対し、90日を限度として1日につき通院保険金日額をお支払いします。ただし、事故の日からその日を含めて1,000日以内の通院が対象となります。	4,500円	7,000円	9,000円
賠償補償 賠償責任保険金 (対人・対物共通)	第三者の身体または財物に損害を与え、法律上の賠償責任を負ったとき保険金をお支払いします。 免責金額はありません。	5億円 (限度額)	5億円 (限度額)	5億円 (限度額)
年間保険料(掛金)	基本タイプ	A 260円	B 420円	C 590円
	天災タイプ (基本タイプ+地震・噴火・津波)	天災 A 460円	天災 B 770円	天災 C 1,130円

ボランティア活動保険等についてのお問い合わせは、対馬市社会福祉協議会地域福祉班までどうぞ。

TEL 0920-58-1432 FAX 0920-58-1183

御寄付 御礼

社会福祉の推進のために、多くの方々から心温まる善意のご寄付をいただきました。ここに、ご芳名(敬称略)を掲載し、謹んで亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

お寄せいただきました寄付金等は、各種福祉事業や地域福祉活動の推進のために、活用させていただきます。

誠にありがとうございました。

(平成19年11月1日〜平成20年1月31日受付分)



上対馬地区

- 糸瀬 勝彦(比田勝)
- (亡・糸瀬 玉枝)
- 大浦 秀人(泉)
- (亡・大浦 シン)
- 古藤 正春(五根緒)
- (亡・古藤 恒雄)
- 木寺 裕也(泉)
- (亡・木寺 和之)
- 古藤 定(舟志)
- (亡・古藤 元江)
- 上真地区**
- 吉野 勝正(佐須奈)
- (亡・吉野 智世子)
- 平山 昭智(佐護)
- (亡・平山 佐保)
- 扇 廣幸(女連)
- (亡・扇 ツルエ)

峰地区

- 岡田 信太郎(佐賀)
- (亡・岡田 雪枝)
- 吉見 孝久(佐賀)
- (亡・吉見 研市)
- 平山 正次(木坂)
- (亡・平山 三千代)
- 豊玉地区**
- 吉村 昭雄(横浦)
- (亡・吉村 ヒデ)
- 中島 邦彦(和板)
- (亡・中島 實)
- 阿比留 良子(貝鮎)
- (亡・阿比留 嘉浩)
- 神宮 俊之(雞知)
- (亡・神宮 和子)

美津島地区

- 矢野 浩二(東里)
- (亡・矢野 勝美)

巖原地区

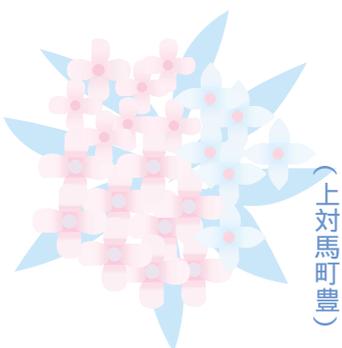
- 高松 武重(佐須瀬)
- (亡・高松 武)

- 阿比留 律子(小船越)
- (亡・阿比留 智弘)
- 勝見 末利(雞知)
- (亡・勝見 満智子)
- 中島 登(小船越)
- (亡・中島 満)
- 早田 俊寿(尾崎)
- (亡・早田 忠夫)
- 竹村 キクエ(雞知)
- (亡・竹村 信)
- 俵 次男(竹敷)
- (亡・田中 芳子)
- 中村 ツル子(竹敷)
- (亡・中村 島衛)
- 上野 敬・上野君子(今里)
- (亡・上野 俊康)

- 中屋 美也子(中村)
- (亡・中屋 隆)
- 上野 司信(東里)
- (亡・戸山 キミエ)
- 和久 直實(久田)
- (亡・和久 エン)
- 黒田 隼人(宮谷)
- (亡・志岐 マツエ)
- 小野 正雄(国分)
- (亡・小野 竹寿)
- 飯塚 実(田淵)
- (亡・飯塚 芳江)
- 増田 ヒユミ(宮谷)
- (亡・増田 昭典)
- 宅野 節夫(田淵)
- (亡・宅野 静子)
- 中西 榮次(小浦)
- (亡・中西 富男)

その他

- 杉原 司郎(西里)
- (亡・杉原 岩子)
- 庄司 與
- (福岡市東区菅松)
- 梅崎 理恵
- (亡・庄司 カツエ)
- (福岡県太宰府市)
- 一般寄付**
- 天台宗対馬部
- (上対馬町豊)



お知らせ

今後の無料法律相談開催予定(平成20年3月分)

相談の時間は、午後1時～午後4時 相談を希望される方は必ず事前(前日の午後4時まで)に予約をお願いします。

回	月日	会場	弁護士	
34	3月3日(月)	対馬市交流センター	小坂昌司	九州弁護士会連合会
35	12日(水)	峰町保健福祉センター	廣部俊介	ひまわり基金法律事務所
36	17日(月)	対馬市総合福祉保健センター	津田聡夫	九州弁護士会連合会

今後の心配ごと相談開催予定(平成20年3月分)

相談の時間は、午前10時から午後3時30分まで。相談の受付は、当日会場で先着順になります。相談員は、当日変更となることがありますのでご了承ください。

開設日	場所	相談員氏名	相談内容
3月4日(火)	対馬市交流センター 第4会議室	対馬市地域包括支援センター職員	介護相談
11日(火)	上県町地域福祉センター	阿比留義教 岡野利雄	よろず相談
18日(火)	対馬市交流センター 第4会議室	扇良富 築城洋二	障害者相談
25日(火)	上県町地域福祉センター	対馬市地域包括支援センター職員	介護相談

自由にエッセイ

東京マラソン2008...初マラソンは都庁スタート

「これから先は選手以外入れません」

東京マラソン2008、2月17日の早朝、宿泊先のホテルを出て横断歩道を渡ったら、係員が「これから先は選手以外入れません」選手と応援者の境界らしい。8ヶ月前から始まった募集、定員オーバーの為に抽選が4ヶ月前、2次募集が3ヶ月前。選手しか入れない領域。私は入れず、当選し出走できる拓也が笑顔で、その領域に入って行った。

選手の多さ、簡易トイレ前の長蛇の列に驚いた。そして拓也と固い握手をしてスタートへと見送った。和典と近くの歩道橋へ上り、スタート方向を見た。人の量に驚いた、そして、まだトイレ待ちは長蛇の列。記念の為に拓也がビデオ撮影をしながら走るの、そのビデオカメラの受渡しを1キロ弱地点の歩道橋の下に決めていた。

すると、まずは車イスランナーが見えた、速い、車並みの速さ、そして、マラソンの部、プロ選手、これまた速い。興奮した私と和典は、拓也との約束「左側を走るから左側で待ってて」をすっかり忘れ、より近くでプロ選手を見るために右側へ移動していた。拓也には悪かったが、スピード感は素晴らしい。

スピード感到満足した私たちは、次なるポイント10キロの給水所(第2次、ビデオ受渡し点)へ地下鉄で移動した。当然、駅構内は大混雑だった。幸い和典が関東在住なので地下鉄の乗り継ぎには苦労しなかった。

10キロポイント付近に着いた頃には沿道は二重三重の人、人、人...

給水所はどこ?どこ?どこ?結局、拓也を見つけたが声を出しても届かず、足取り軽く走っている姿に少し安心した。ビデオも右手にしっかり握られていた。足取りは軽く見えたが、ビデオを持っている腕が心配になり沿道の最前列を探した。20キロ弱の地点で、やっとビデオの受渡しに成功した。そこから銀座へ。銀座の応援は上品にも感じた。最終の応援ポイント38キロ地点へ移動、1時間くらい待たせようか。

「来たー!!!」和典が狂ったように叫んだ。「どこ」「どこ」私も叫んだ。そして、「拓也」と叫んだ、大きな声で叫んだ。声援に気付いたのだろうか、大きく右手を上げた。「あと4キロ」私は、左手で「4」を示した。

小さい左手が、その時だけは大きく見えたと言った拓也が言った。元気な走り、安堵しゴールの東京ビッグサイトへ向かった。ゴール付近に応援者は入れず、応援スタンドも満席だった。着替えを終わらせた拓也が来た。2倍も3倍も大きく見えた。胸には完走メダルが輝き走りきった充実感と達成感で光っていた。「来年はみんなで走ろう!!!」を誓った。多くの感動をありがとう!!!

そして来年は...来年の大会は、2009年3月22日。

日本赤十字社よりAEDを受配

この度、日本赤十字社長崎県支部よりAED(自動体外式除細動器)をいただきました。

このAEDは、心臓麻痺を起こして倒れた人に、電気ショックを与えることにより救命することができる大変優れた小型の器械です。

このAEDは、対馬市社協本所がある豊玉町福祉センターのエントランスに設置いたしました。



読者の皆さんの声をお聞かせ下さい

社協に対する質問・疑問等どんな事でも結構ですので、下記宛にご連絡ください。

連絡先

TEL 0920 58 1432

FAX 0920 58 1183

E-mail tsushima-syakyo@oregano.ocn.ne.jp

